

有限会社千葉製作所

業種	製造業	事業所所在地	千葉県香取郡神崎町	資本金	5,000千円
				従業員数	11名

	被承継者（左）		
	千葉 勝雄	78歳	※承継時
	承継者（右）		
	千葉 信一	49歳	※承継時

事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係
2019年10月	子ども

承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題
金属製品製造業 CNC旋盤を用いた金属挽物の製造業。精密機械部品・産業機械部品・宝飾品等を、ステンレスや真鍮等の素材を用いて製造しています。	・既存商品・サービスの利益の拡大（売上原価や販管費の改善） 承継前の課題は以下の2点である。 ①新工場の設立とそれに伴う設備の導入による、「歩留まり・品質」の向上。 ②新規設備の導入による「生産性」の向上。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
承継のきっかけは、当社取締役である承継者母親からの働きかけによる。既に、製造現場については承継者である現代表が中心に事業を運営していた。一方で、経営面については、高齢となった前経営者が担う状況が続いていた。今後、事業拡大のため積極的な設備投資を実施するにあたっては、経営者の交代を果たす必要があったことから、事業承継に取り組むこととなった。	承継にあたっては、経営面での事業引き継ぎに多くの時間を割いた。CNC旋盤を活用する技術などについて、承継者は既に身につけている。一方、経営面である「社長としての責務」や「税務会計」「人材育成」等については知識が不足している。事業の承継にあたっては、話し合いによる伝達を数年かけて実施した。	承継後、経営における「責任」について、若干の不安があった。事業の承継にあたっては、「資産」や「技術」と併せて、「従業員」や「負債（借入金）」についても承継する必要がある。事業を引き継ぐことで、それら責任を負うことになる点について、重点的に共有した。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	事業承継を実施した10月に、全従業員および取引金融機関等に対して、「経営者が変更となった」旨を説明した。更に、従業員に対しては、12月（忘年会時）に改めて周知、新社長による決意表明等を実施した。	これまで、機械操作などの「技術面」のみの承継にとどまっていたことから、経営に関する様々な知識を習得する必要がある点が不安であった。事業承継後も、引き続き経営面について注視し、たゆまぬ見直しが必要であると考えている。

これに一番苦労した！
日々の業務に被承継者、承継者共追われていることから、特に経営に関する知識の習得に時間がかかった。親子共に同じ職場にはいるものの、「経営面」については、改めて時間を取った上で話し合う必要があることから、承継までに時間を要することとなった。親子間での密なコミュニケーションを実現することが事業承継時には求められるものの、その時間を確保することが、承継に当たって最も困難な点であった。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	支援機関である「神崎町商工会」からは様々なサポートを受けた。承継前については、「事業承継計画」の策定を支援していただき、事業について見つめ直す機会を持つことができた。また、「事業承継補助金」の採択にあたって、申請業務等についてサポートを頂いた。「事業承継補助金」採択後の実行フェーズにおいても、各種証拠書類の作成や収集を支援していただいた。
いつから相談？	
承継実行の1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

製造環境のクリーン化による、「宝飾品」加工の歩留まり向上計画

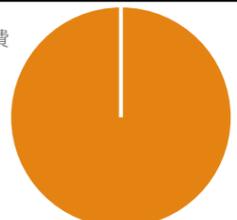
経営革新等に係る取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
---------------	--------------------

●当社は、アクセサリ分野におけるリング・ピアス・ネックレス・バッグ用パーツ・カフス等の精密金属挽物を主力業務とし、大手宝飾品メーカー向けアクセサリや、各種精密金属部品を難削材であるステンレスおよび真鍮等の金属素材から切削加工を行っている。

●リング・ピアス・ネックレス等の宝飾品市場は、年々拡大傾向で当社に対する試作開発の依頼が増加している状況ではあるが、素材が従来の「真鍮」から「ステンレス」や「チタン」などの難削材、「鉛レス真鍮」などの再生が困難な素材に変化していく中、「歩留まり」及び「品質」の向上が課題であった。

●そこで、これまで密閉できず開放構造だった製造工場から、敷地内にクリーンな設備を導入した新設工場へと環境を変えることで、当社の課題である「歩留まり」及び「品質」の向上を実現する。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
当社では、神崎町及び近隣自治体を中心に雇用を行っています。今後、事業の拡大に伴い、地域からの新規雇用を増加させる見込みです。また、承継者は商工会等の役員でもあり、地域の発展のため、これまでの尽力して参りました。今後も、地域行事等に積極的に関与することにより、更なる地域の活性化に貢献したいと考えています。	<p>■設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費 (コンプレッサ及びエアコン設備導入費)</p>

認定経営革新等支援機関の名称：神崎町商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

補助事業の制度説明及び申請書の作成についての支援をいただいた。また、交付決定後は、事業実施における見積依頼書等の様式の作成支援、事業の実施についてのスケジュールリング、資金調達方法、実施方法、専門家派遣によるアドバイスおよび実績報告書類の作成等を伴走支援いただいた。

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	当初設定した当社の課題であった「歩留まり・品質」の向上および「生産性」の向上は、一定程度実現することができた。一方で、これまで以上に経営成績を向上させるためには、社内人員による生産性向上が不可欠な状況である。前記の実現には社内の教育体制を見直し、各従業員が「技術者」として成長できる体制を構築する必要がある。技術者の育成を進めることで、既存設備の生産性が向上し、新規機械設備の導入余地が出てくるみこみである。3年後を目処に新規設備投資（CNC旋盤の導入）を実施し、売上高を現状の120%まで増加させたい。
売上高	120 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
承継前の心配は大きなものだった。経営にあたっては、内部環境である社内の掌握と共に、外部環境である社会情勢についても注視する必要がある。事業承継にあたっては、経営者として培ってきた「社会情勢を見極める目」についても伝えるよう努力して欲しい。	事業承継にあたっては、先代経営者と良くコミュニケーションを取ることが重要だと考えます。技術面・経営面共に、教わることができるうちに教わっておくことが重要です。先代経営者が何らかの事情で事業をリタイアした場合、それら知識を教えられることがないまま事業を承継することになってしまいます。先代経営者が元気で、助けてもらうことができる早い段階で承継することが望ましいです。